

宮崎県立宮崎西高等学校 創立40周年記念式典 御挨拶

おはようございます。PTA会長を務めます「奥」と申します。本日はおごそかな中にも盛大な記念式典を開催することができました。多くの方々のご支援に対しまずもって感謝の意を表します。そして我が校に関係された方々と澄み切った秋空晴れの下、一緒になって集いともに祝うことができますことを心から喜ぶと思います。また、わざわざ遠方よりおいでくださいました来賓の方々に対し、保護者を代表しまして厚くおん礼を申し上げます。

さて、本校は昭和49年に創設されました。開校当初はプレハブの仮設校舎で日夜、勉学にはげむ厳しい環境の中をスタートしたと聞いております。パイオニア精神に溢れる先生方や生徒諸君が核となり、40年を経た今では輝かしい実績を積み重ねる学校として、注目を集め続けるそんな存在となりました。その原動力となったのが他県の進学校に伍する学力の向上と本県をリードする人材の育成への強い思い入れであることは、異論を待たないことと思います。

このような背景から県民の方々や関係者からは、開校当初より大きな期待が寄せられました。この期待に応えるべく、意気盛んで進出の気概があふれるそんな若人を多数送り出す母校であり続けて欲しいと強く願い続けて参りました。そして日夜、ただただ前のみを見つめて全力投球を続けた、そんな40年間ではなかったかと考えます。あたかも子供が成長するように門出を祝ってもらい、成長を見守ってもらい、そしてその結果めでたく今日を迎えることができました。これもひとえに、関係各位のご努力とご尽力の賜物と改めて感謝を申し上げる次第です

先ほど学校に対する期待感には大変大きいものがあると私は申し上げました。その点を如実にあらわすのが理数科と附属中学の開設ではないでしょうか。普通科に加えこれらの過程が併設されたことで資質や経験の異なる者同士が触発し合う機会が多くなりました。多彩で有意な若人が多数集い触発し合う、そんな活気に満ち溢れた教育環境の下で生徒諸君はしっかりと学ぶことが可能となりました。創設の言葉にもありますとおり「未知の我を求めて」やまない校風が色濃く漂う学校として広く県民の記憶に深く刻まれつつあるものと認識しているところです。

私は今回の40周年の記念すべき節目を迎えるに当たり、学校の内外を問わず次のような言葉を発信し続けて参りました。「これまでを想って そしてこれからを期して」これは、これまでに積み上げてきた我が校の実績を「是」としながらも、刺激的で活気に満ちたこの恵まれた教育環境を最大限に生かせないものか。そしてさらに成長し続けより高いレベルを目指して欲しいとの保護者の熱い想いを強く込めたものであります。伸びしろが無限な学校へとバー

ジョンアップすることへの関係者からの大きな期待感が詰まった言葉と言えるのではないのでしょうか。このように考えますと、40周年は単なる節目であって、ましてや到達点などではなく、さらなる飛躍と創造を目指す重要な年を迎えているものと認識しております。次なる50年、さらには100年に向けての単なる通過点として捉えるべきでしょう。

ここに、この佳き日に記念式典を挙げる大きな意味合いがあるものと考えます。

このような良き伝統や強い理念は、先生方をはじめ関係諸氏のご尽力とご努力の賜と感謝と喜びに堪えません。PTAとしても、良好な環境づくりを進めるため、先生方や生徒諸君とスクラムを組んで我が校を盛り立てていく責務があるものと再認識している次第です。生徒諸君には、この恵まれた環境の下でさらに学業や運動に励み、人間としても大きく成長されることを心から願っております。最後になりますが、未知の領域を追求してやまない我が校の真価がこれまで以上に発揮できますよう関係各位のより一層のご支援とご尽力を期待いたしましてPTAを代表したご挨拶いたします。

平成25年10月18日 PTA会長 奥 泰裕